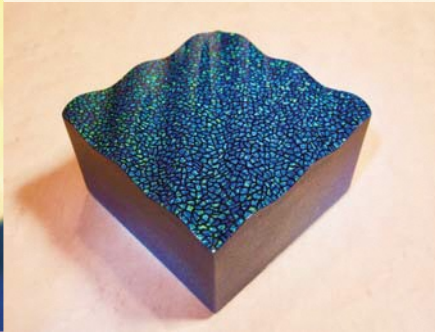




京都オパールへの貼り付け



彩輝光♡型合子「こころ」



彩輝光 3D プリンター宝飾箱



彩輝光 宝飾箱「渦」

京都府立大学文学部 国際京都学セミナー

伝統＋テクノロジーが生み出す新たな美 明治150年 京都工芸のモノがたり

プログラム

報告：「海を渡った京都工芸のモノがたり」
野口 祐子（京都府立大学文学部教授）

講演：「伝統＋テクノロジー「彩輝光」のモノがたり」
大町 憲治氏（蒔絵作家）

報告：「先端技術が暮らしを彩る」
田中 孝之氏（京セラ株式会社 宝飾応用商品事業部）

トークセッション：「工芸の今昔と未来」
大町 憲治氏 × 田中 孝之氏 × 野口 祐子



大町 憲治（おおまち けんじ）

京都市立日吉ヶ丘高等学校 美術工芸コース 漆芸科を卒業後、蒔絵技術習得のため10年間の修業を開始。2001年より京都オパールを使用した作品の制作を開始。2009年

に京都オパールを使用した作品「彩輝光」を発表。今日まで各地で個展を開催し工芸の枠を超えたコラボレーションで活動の幅を広げる。

2018年 **10月27日** |土| **13:00-16:00** (開場12:30)
京都府立京都学・歴彩館 1階 小ホール

参加
無料

事前申し込み
先着 **90名**



京都オパールを使用した作品の研磨中



Creating Eternal Beauty
KYOTO OPAL



初音蒔絵香炉

主催：京都府立大学文学部 共催：京都府立京都学・歴彩館 京都府立大学京都地域未来創造センター
【問い合わせ先】 京都府立大学文学部 (tel)075-703-5117

開催趣旨

京都府立大学では長年にわたって京都学の研究を行ってきました。また近年は京都府立京都学・歴史館と連携して国際京都学の研究と成果公表を行っています。本セミナーもその一環として、明治150年を機に京都の工芸を展望し、皆様と共に伝統工芸の今昔と未来について考えます。

明治時代、京都から多くの工芸品が欧米の博物館やコレクターの手に渡りました。当時、工芸品は外貨獲得のための主要な輸出品だったのです。東京遷都のため危機に瀕した京都が、工芸にいかにか新たな息吹を吹き込んで起死回生を果たしたか、ロンドンのヴィクトリア&アルバート博物館などに所蔵される作品や欧米人の旅行記から読み解きます。

当時の人々が伝統技術を継承しながら、ヨーロッパの新技术を果敢に取り入れて工芸を進化させた、その創意と努力には目を見張るものがあります。京都の進取の気性は、今日のテクノロジーを取り入れた工芸作品にも窺うことができます。

本セミナーでは、京セラ（株）が開発した「京都オパール」を使用して、これまでにない煌めきを放つ漆芸「彩輝光」を発表する蒔絵作家の大町憲治氏と、京セラ（株）宝飾応用商品事業部の田中孝之氏をスピーカーに迎えて、伝統技術と先端技術の出会いによる新たな作品の誕生と展開について語っていただきます。

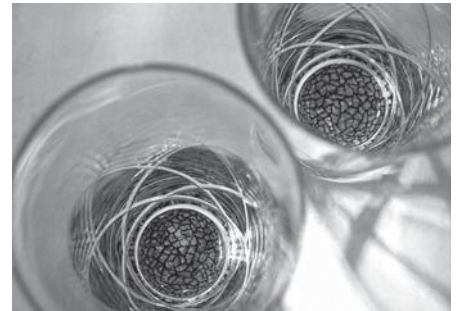
なお、このセミナーは、科学研究費助成事業 基盤研究（C）「明治時代京都の工芸とそのイギリスにおける受容と相互影響に関する研究」（平成28～30年度、課題番号16K02274、研究代表者：野口祐子）の成果報告を兼ねています。



彩輝光駒形睦椀



蒔絵筆



彩輝光グラス

応募方法

申込先着順 定員90名になり次第締め切ります

申込期間 **9月3日**(月)～**10月25日**(木)

申込方法 *Eメールでの申込 **seminar1027@kpu.ac.jp** 氏名(ふりがな)をお知らせください

*往復はがきでの申込 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 京都府立大学文学部
「明治150年 京都工芸のモノがたり」宛て
氏名(ふりがな)、住所をお知らせください

(ご記入いただいた個人情報は本セミナーに関する連絡のみに使用いたします)

会場アクセス

- JR・近鉄京都線、阪急烏丸駅から
京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」下車(①出口)南へ徒歩4分
 - 京阪出町柳駅から 京都市バス1
府立大学前(北大路通)下車北へ徒歩6分
 - JR二条駅から 京都市バス206
府立大学前(北大路通)下車北へ徒歩6分
- 会場へは便利な京都市営地下鉄・市バスをご利用下さい

